

# 授業改善書

科目名	数学(解析基礎)
担当者	寺澤信雄

## 授業の概要

解析学は数学だけでなく、自然科学のすべての分野の数学的基礎を与えていて、どうしても避けて通る事のできない学問である。本講義では、微積分解析を中心に、解析学の基礎を解説する。解析学の諸概念を理解するだけでなく、実際的な計算力を養うことが目標である。取り扱うテーマは、関数の連続性と関係する話題、微分と導関数および、その応用、不定積分、定積分とその応用、偏微分と重積分である。

## 授業の問題点

学習意欲が一部の熱心な学生を除いて一般に低く、苦慮している。解析学は論理的思考力を養うばかりか、基礎的な演算手法は現代のあらゆる場面に応用されている。従ってこれを習得する事は社会人にとって大きな力となるが、残念なことに学生の学習意欲が一般に低い。

## 学生の授業満足度

大学における数学の授業として最低限の水準は満たされていて、学生もその点では満足しているようである。ただ、半期という時間的制約の中で、高校の数学の復讐と大学の教養課程の数学授業を同時に進めていくのはかなりの無理があり、密度が高過ぎるといふ不満が感じられる。

## 授業改善の課題と方策

習得できているかどうかは別として、解析学を通して論理的思考力を養える様、また実際的な計算手法を少しでも習得できる様、例題の解説に特に力をいれて講義した。成績評価を厳格にするのが望ましいと思うが、その場合多数の不合格者を出すことになるので、実行に躊躇をおぼえる。

## その他